

問われる発想力



21世紀は電気自動車の時代といわれています。これから確実に石油の枯渇化が進み、現在のガソリン自動車は電気自動車に取って代わられるでしょう。但しバッテリーの関係で現在は150Km程度しか走れません。さらに高性能なバッテリーが開発されればその動きは急速に加速されます。ハイブリッドカーは電気自動車への繋ぎでしかありません。日産は今年電気自動車を製品化しました。自動車産業はこれから革命的変化の時代を迎えようとしています。

電気自動車はモーターとバッテリーがあれば基本的には良いために、ガソリン自動車に比べて部品点数が約10分の1程度と極めて少なく軽量化が可能です。そのため従来自動車産業に関わっていなかった人でも手軽に参入出来ます。今中国ではこれまで車造りとは全く縁の無かった農民等が電気自動車開発に乗り出し1台15万円程度で時速70キロ程出る電気自動車を発売しているベンチャー企業が沢山出てきています。低所得者を対象とした自動車としてかなり売り上げが伸び始めているとのこと。日本より一足先に電気自動車が普及し始めています。しかもヨーロッパの基準に合格し、ヨーロッパへ輸出をもくろんでいる企業もあります。インドではすでに電気自動車をヨーロッパに輸出しています。

アメリカでは政府の肝入りで電気自動車の研究開発が急速に進んでいます。アメリカでは従来の車の発想から極めてかけ離れたまさに超未来型の形状をした電気自動車が一部で発売されています。IT産業の雄のグーグルも電気自動車開発に携わっています。グーグルでは電気自動車を単なる車としてではなく、太陽光等で発電した電気ですべてのバッテリーを充電させ、その自動車をネットワーク回線で繋ぎ、その回線上でどこで電気が足りずどこで余っているかをシステム上で判断し、使わないときはそのバッテリーの電気をネットワーク回線を通じて他の不足している工場等へ供給する、というシステムをすでに構築しつつあります。もはや移動手段としての車という発想をはるかに飛び越えた、これまで誰も考えなかった新しい発想で新しい技術開発に取り組んでいるのです。

私達はややもすると従来の発想の中でしか、ものを考えられない傾向があります。しかし新しい時代を切り開いていくためには、これまで誰も考えつかなかったような新しい発想力が求められています。まさにこれからはアイデア・発想力が重要となります。

学校祭で見た皆さんの新しい発想力をさらに磨きをかけ、これからの社会を開く一人

今日の「名言」

伸び悩んだり、
才能の限界にぶつかったりしたとき、
「もうダメだ」とあきらめるか、
それとも
「どうすればこれを突破できるか」
と考えるか。
一流と二流は、まさにそこで分かれる。
(雑誌「The21」、野村克也)

となって欲しいものです。

<補> 今後電気自動車の普及にとともに、部品点数が極端に少なくなる分これまでガソリン自動車に関わってきた多くの中小企業にとっては大きな痛手になる可能性が高いでしょう。勿論今すぐに電気自動車に代わるわけではないのでもう少ししばらく猶予はあります。その間に次の手立てを考える必要があるでしょう。

